

# 第 1 回金ヶ崎町地域公共交通会議会議録

○日 時：平成31年3月25（金）10：00～11：30

○場 所：金ヶ崎町役場 大会議室

○出席者数（地域公共交通会議委員）：25名のうち19名出席（1名代理出席）

出席者については、別紙出席者名簿を参照。

## ○委嘱状交付

会議に先立ち、新たに金ヶ崎町地域公共交通会議を設置に伴う委員への委嘱状の交付を実施  
委員25名を代表し、高橋町長より小野寺副町長へ委嘱状を交付

## ○公共交通会議内容

### 1. 開 会：

- ・進行：商工観光高橋課長
- ・第1回金ヶ崎町地域公共交通会議の開会を宣言
- ・本日の出席委員について別紙の出席者名簿のとおりである旨の説明
- ・事務局職員の紹介

### 2. 挨拶：

- ・町長挨拶  
(省略)

### 3. 会長及び副会長の選出

- ・会長・副会長の選出されるまで町長に進行を依頼
- ・金ヶ崎町地域公共交通会議設置要綱第4の規定に基づき、会長に小野寺副町長、副会長に岩手大学の南正昭教授に決定  
(町長退席)

- ・以降、会長の小野寺副町長が進行

### 4. 説 明

- ・次第4の説明について
  - (1) 金ヶ崎町地域公共交通会議の概要について
  - (2) 会議及び会議資料の公開等に関する取扱いについて  
関連しているため、一括で事務局が資料1、2により説明
- ・説明終了後に質疑を求めた結果、質疑等無し
- (3) 金ヶ崎町の公共交通等の現状について  
事務局が資料3により説明
- ・説明終了後に質疑を求めた結果、以下とおり質疑有り

質疑・回答	内 容
【質問1】	【資料3】P10⇒利用者の単位は何ですか。
【回答1】事務局	利用者数の単位は、1日当たりの数値です。 JRが公表している数値です。
【質問2】	【資料3】P13⇒昨年21,242人の利用者数のうち、お年寄り・障害者・

	子供・親子世帯が利用しているなど内訳を町で把握していますか。
【回答2】事務局	利用者数の人数は把握しています。高齢者・子供などの内訳までは把握していません。バス運転手からの聞き取りから高齢者の方が買い物や通院に多く利用されているということは聞いています。 今後は、利用者の内訳なども調査が必要と考えています。

#### 4. 協議

##### ・次第4協議について

(1) 金ヶ崎町地域公共交通網形成計画策定の方向性(案)について

資料4により事務局が説明

##### ・説明終了後に質疑を求めた結果、以下とおり質疑有り

質疑・回答	内 容
【意見1】	<p>気になる点として、田園バスに乗ってる人は高齢者が多く買い物や通院の利用が多いという説明がありましたが、人口が減っている中、高齢者は増えています。その中で、逆に田園バスの利用が減るという相関関係があります。このため、全てを人口減少に結び付けるのではなく、利用する必要があるのか、どうかということを考えることが必要と思います。</p> <p>これまで、田園バスを利用していたのは一定の免許を持っていない方も多くいたことと思います。現在は、80代・90代でも免許を持っているという状況になってきており、高齢者も自分で運転できれば運転する時代になっています。このため、田園バスがあってもなかなか利用されず、自分の車を使うという状況になってきているのではないかと思います。その80代・90代で運転している人は、運転できなくなり免許返納をすると、田園バスに乗るといよりは、施設に入る、デイサービスを利用するという状況になっているという実態があります。単に全体の人口が減少しているから公共交通の利用者が減っているというのではなく、階層が変わってきているというのも分析の中でしていった方が良いのではないかと思います。</p> <p>買い物支援バスがありますが、利用者の声を聞くとバスには乗れるが、買い物後の停留所から自宅まで持っていくことが大変になってきているという話があります。買い物支援バスは、添乗員がついており、買い物後は自宅付近まで運ぶ手伝いしています。利用者からは大変助かるという意見もあります。公共交通でそこまできめ細かく対応できないと思いますが、実際にバスを利用しても買った物を自宅まで運ぶことが大変になっているというのが現状にありますので、今後の検討の一つの要素になってくるのではないかと思います。</p>
【回答2】事務局	<p>バスの実際の利用者数の推移やニーズについては、事務局でも車社会によって利用者数は減ってきていると思っています。</p> <p>実際、免許返納をしている人はおりますが、免許を保有している高齢者</p>

	<p>も増えており、免許保有率は年々増加傾向にあります。</p> <p>そのような自供から時代やライフステージに応じたニーズを把握しなければいけないと思っており、今後調査を行う予定としています。</p> <p>きめ細やかな買い物支援は公共交通では対応が難しいため、会議の中で事業者の皆様などと情報交換を行いながら進めていきたいと考えていますので、色々ご意見をお願いします。</p>
<p><b>【意見 2】</b></p>	<p>免許を保有していない子育て世代の人も多くおります。その中で、まちの子育て支援センターは町の西側にあり、北部地区から子育て支援センターを利用したいが、南北を走行するバスも無い状況にあります。また、子育て支援センターから保健センター・役場・買い物など行けるなど町内を回遊するルートがあれば利用者も増えると思います。免許を保有していない子育て世代の方からアンケートを取るなど意見を聴いてほしいです。</p> <p>また、障害等などで免許を保有できない方も多くいることから、出勤や買い物など生活に利用利用できる田園バスであれば利用者が増加すると思います。</p>
<p><b>【回答 2】</b> 事務局</p>	<p>金ケ崎町の地形は、東西に長く、買い物や通院に利用できるため、東西に運行している現状にありますが、今後は、町中心部を回遊する運行も必要と考えております。このため、利用者がどこに行くために利用するのかなどのニーズを的確に把握する必要があります。全のニーズに対応することは難しいと考えておりますが、拠点となる場所も設定し、これを経由しながら乗継で対応するなど検討が必要となってくると考えています。また、免許を保有していない方の考慮していかなければいけないと思っておりますので、ご意見をいただきたいと思っております。</p>
<p><b>【意見 3】</b></p>	<p>子育て世代の親の目線での意見ですが、私は県外出身ですが、当時中学生だった頃、バスで通学していました。その理由は、生徒数が少なくなり中学校が合併するため、その代わりに定期代の補助を受け、バスで通っていました。そのバスは、公共バスでしたので、地域の方も乗るバスでしたので、それが普通と思っておりましたが、金ケ崎町は分かれているのでやはり一本化というか一緒に使った方が効率も良いし、地域の人と関わりも増えるので、スクールバスと田園バスを一緒にしていただければ良いと思います。また、中学生の子供がある場合は、バスに自転車を乗せられたら良いと考える方もいると思います。学校から遠い場所の親は、朝送って行った場合、帰りも迎えに行かなければいけないので、自転車を乗せることができれば、行き又は帰りがバスという選択もできることから親も助かると思います。土曜日など子供向けのイベントがありますが、親が送迎しなければいけなくなり負担が発生することから、中央センターを経由する運行もあれば子供達も参加しやすく交流もできるのかと思いますので検討をお願いします。</p>

<p><b>【回答3】</b> 事務局</p>	<p>現時点で、田園バスとスクールバスを必ず統合すると決まってはおりませんが、統合した場合、地域の方々と子供達のつながりの場になるかと思っています。今後検討していく中、どういう形が良いか皆様にもご意見をいただきたいと思っています。</p> <p>土曜日のイベント時の運行につきましては、町全体を隈なく運行するのは難しいため、ニーズの把握や拠点の設置を検討していき、乗継も含めながら街中を循環するなど、いずれ案を作成し、ご意見をいただきたいと思っています。</p> <p>自転車の積込みについては、バスの中に乗せるのは、難しいかもしれませんが、事例などを調査しながら考えていきたいと思っています。</p>
<p><b>【意見4】</b></p>	<p>利用者の立場でお話いたしますが、スクールバスと田園バスが同じ経路を走行しているので、スクールバスと田園バスを一緒にとういうことになれば、利用者のサービスがスクー低下すると思います。現在、きめ細やかに田園バスを走行しておりますが、一緒になった場合、スクールバスの車両が大きいと、細い道路は走れなくなります。利用者のため、まずは乗ってもらうためには、きめ細かく走らないと高齢者は大変である。その辺、十分考えて路線を決めていただきたいと思っています。</p>
<p><b>【回答4】</b> 事務局</p>	<p><b>【資料4】</b> P16に全体的な今の公共交通の在り方・手段・対象いろいろと記載させていただいています。事務局としては、今までの既得権・既成概念というのではなく、利用者目線、利用しやすい目線で考えていきたいと思っています。</p> <p>スクールバスという概念で考えますと、中学校・小学校から何km離れていなければ利用できない。既成概念を外せば、一般の公共交通であれば乗りたい人は乗れるわけです。</p> <p>また、田園バスは従来であれば交通弱者、例えば通院・買い物が第一だったということになりますが、今後は観光客や土日の運行なども検討するなど、議論を広くしていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。</p>
<p><b>【意見5】</b></p>	<p>スクールバスに特別運行というものがありますが、資料の中には、一切集計されていません。各種競技会・大会等・学習発表などに利用している集計がないため、朝から夕方まで利用されていないという考えのもとに、考えられてしまいそうな感じがします。実際問題として、利用されていない時間は、朝8時から午後3時までの時間帯であり、金ヶ崎町は小・中一緒に乗降していますので、効率が良い方にあります。</p> <p>小学校の帰りが3時、4時があつて、中学校の帰りが5時、それから各種大会がありますと6時とそれくらい走っています。それを公共交通で実施するのは、不可能ではありませんが、朝の便は、ほぼ満車状態で走っているので、地域の人が乗ることが可能であるかなど、検討が必要な部分もあると思います。帰りの便は、便数が増え、空席もあり可能性</p>

	<p>はありますが、朝は難しいと思います。</p> <p>スクールバスは大型であり、街中を回遊する場合、道が狭く、特に冬場は雪もあるため修繕費も掛かる。街中を回遊する場合は、田園バスで利用しているマイクロを利用する方が、効率が良い使い方になるかと思えます。</p>
【回答5】事務局	<p>特別運行について、運行しているのは把握しておりましたが、資料には記載しておりませんでした。また、朝の1便は、小・中学生の生徒が多く利用している実態は把握しています。</p> <p>運行方法は色々あると思いますが、例として朝の便では、学生を中心とした快速運転を行い、必要な停留所を経由し、小学校経由で中学校に行き、最終は駅とする。2便目以降は一般対象にし、すべての停留所を経由し、買い物などに利用をする。そのような運行もできるのではないかと考えています。</p> <p>現状、田園バスは3台のバスで6路線を運行していることから、必ず朝1便目がすべての路線7時台とはなっていません。現状は、7時台が終わり次の路線に移行しますので、次が8時台になったりしています。現状、スクールバスの台数・田園バスの台数、路線、色んな視点から検討していけると考えております。</p>
【現状説明】	<p>【資料3】P9に人数の記載がありますが、バスの乗降人数は平均値となっていますので、乗っているバスにはたくさん乗っていますが、そうでもない時間帯もあるのが現実にあります。また、バス会社の現状として、運転手が不足しています。全国的にバスの運転手不足、バスの運転手の成り手がいない状況にあります。これは、猶予できないぐらいにひっ迫している状況にあります。近隣市町では、運転手不足で路線を維持できない状況にあり、廃止となった路線があります。</p> <p>県で進めている網形成計画の中では、この地区を走っている県交通の路線は、競合路線という位置付けになっています。東北本線と同じ区間をバスが走行しているため、見直しが必要な位置づけとなっています。</p>
【質問6】	<p>【資料4】P17の地域公共交通網形成計画の手順の記載がありますが、この網形成計画は策定だけでなく、策定後は実施ということとなっていますが、住民・交通事業者・行政の役割というのが求められると思います。策定の手順を見ますと事務局が案を作成し、この会議で議論を行い、意見を反映して案を作成するように記載してありますが、住民の意見を、住民説明会・パブリックコメントなどで反映するという事は考えていますか。</p>
【回答6】事務局	<p>アンケートやパブリックコメントなど実施する方向で進めたいと考えています。</p>
【質問7】	<p>免許返納者は、1年間でどれくらいいるか把握していますか。</p>
【回答7】事務局	<p>免許返納者は、町の生活環境課で対応していますが、平成29年から免許</p>

	返納制度を初め、正確な数字ではないですが、平成 29・30 年度ともに毎 50 名以上が免許返納している状況と聞いております。合計では 100 人を超えたという状況です。
--	---

・ 質疑・応答終了後、

(1) 金ケ崎町地域公共交通網形成計画策定の方向性（案）について

出席者全員から承認を得られた。

(2) 平成 31 年度金ケ崎町地域公共交通に関する事業計画（案）について

資料 5 により事務局が説明

・ 説明終了後に質疑を求めた結果、以下とおり質疑有り

質疑者・回答者	内 容
【意見 1】	<p>今年度県内の他の自治体で網形成計画を策定していますが、その際の経験では、年度内に網形成計画を策定しようするのは、かなり大変になります。資料の作成から地域の皆様からの話を聞く、実態の把握・分析など、当初計画のスケジュール以上に時間が掛かるというのが実感であります。</p> <p>資料の作成から各委員の日程調整など、押し迫ってきますとなかなか日程調整も難しくなってきます。遅れが生じると年度内に計画を策定するためには、後半、かなり窮屈なスケジュールになってしまいますので、今から年度計画を立てて、地域の意見を把握する時間を多くとっていただき、地域の実態に合わせた網形成計画を作成していただければと思います。</p>
【回答】事務局	<p>現状では大まかなスケジュールにはなりますが、このようなスケジュールで進めさせていただきます。ご意見を踏まえながら、特にも住民ニーズ等の把握をしっかり行いながら良い計画にしていきたいと思っています。</p>

・ 質疑・応答終了後

(2) 平成 31 年度金ケ崎町地域公共交通に関する事業計画（案）について

出席者全員から承認を得られた。

## 6. その他

・ 特に無し

## 7. 閉会

・ 第 1 回金ケ崎町地域公共交通会議の閉会を宣言